

岡山市の財政状況

— 財政状況は一部改善するも、なお厳しい状況です —

1 厳しい財政状況とは？	1
(1) 市税収入は厳しい経済情勢により減収傾向	1
(2) 地方交付税は政令指定都市移行もあり大きく増	2
(3) 扶助費等の義務的経費は増加	3
(4) 合併増分を加えた市全体の借金は行革により大幅減	4
(5) 平成21年度当初は行革効果により 財源調整の基金の取り崩しなし	6
(6) 財政指標は依然として高どまり傾向	7
2 財政指標の政令指定都市の中でのランクは？	8
(1) 他都市と比較すると低いレベル	8
(2) 経常収支比率の中では公債費・繰出金の割合が高い	9
(3) 地方債現在高、債務負担行為額のランクは、 額・比率ともに中程度	10
(4) 財政4指標は全て早期健全化基準をクリア	11
3 バランスシートと行政コスト計算書を比較すると	13
(1) 岡山市のバランスシート（普通会計）	13
(2) 政令指定都市の中では高い負債の割合	15
(3) 岡山市の行政コスト計算書	16
(4) 岡山市の1人当たりの行政コストは318千円	18
4 今後の収支見通し	20
(1) 5年間の収支見込み	20
(2) 今後の財政指標は改善傾向も依然厳しい状況	21
(3) 大規模事業の事業費は増加	22
5 これまでの取組みや今後の見通し	23
(1) 岡山市都市ビジョン[新・岡山市総合計画]が始動しました	23
(2) 行財政改革大綱（短期計画編）の 財政効果200億円の目標を1年前倒しで達成	24
(3) 公的資金の「補償金なし」の繰上償還により節減総額は 80億円と試算	26
(4) 職員数を削減し、人件費総額を抑制します	27
(5) 扶助費・保険医療費の負担が増加しています	28
(6) 下水道の効率的な普及に努めています	29
(7) 土地改良事業の債務負担行為残高の削減に努めます	31
(8) 土地開発公社の土地保有額100億円超の圧縮へ	32
6 資料編	33
(1) 普通会計決算収支状況等の推移	34
(2) 歳入・歳出決算額の推移	35
(3) 岡山市バランスシート	42
(4) 行政コスト計算書	47
(5) 市町村財政比較分析	49
(6) 今後の収支見通し	51

（「岡山市の財政状況」は、平成11年度に初版を作成し、今回が第11版になります。）